

2026 年度
青山学院大学大学院
会計プロフェッション研究科
会計プロフェッション専攻

修士入学試験要項
(本研究科修了（見込）者対象)

(2026 年 4 月入学)



青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人ともに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのの立場において、
時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

会計プロフェッション専攻 教育研究上の目的

会計プロフェッション研究科では、キリスト教理念に基づく教育の実現を理念に掲げ、高度な職業倫理性と専門的能力、国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッションを養成する。

アドミッションポリシー(入学受入れの方針)

会計プロフェッション研究科の教育理念を具現化する学生は、以下のとおりである。

【知識・技能】

- ・全学生共通:会計に関する基礎的素養(日本商工会議所簿記検定2級程度の学力)を有している。
- ・2年制:大学卒業程度の簿記・会計に関する基礎的な勉強経験を有している。
- ・2年制(外国人留学生):大学院での講義・演習の受講に支障のない日本語の能力を有している。
- ・1年制・1年半制:大学・大学院での学習や実務経験を通じて、簿記・会計に関する基礎的な知識を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・全学生共通:経済・企業社会等の情勢を常に把握し、それに基づき経済活動や企業行動のあり方について思考している。
- ・2年制:会計の理論のみでなく、実務についても関心をもっており、理論と実務の融合について思考している。
- ・1年制・1年半制:会計の理論について強い関心をもっており、理論と実務の融合について思考している。

【態度】

- ・全学生共通:
 - ・会計プロフェッショナルの職業倫理や各種の会計マインドを真摯に学ぼうとする姿勢を有している。
 - ・広い会計専門職領域から学ぼうとする特定の目標が明確である。
- ・2年制:修了後の進路について、一定の具体的な方向性が明確である。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本研究科では、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を2本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッション」の育成を目的として、下記に示す教育課程を編成する。

- ・国際会計士連盟(IFAC)の職業会計士国際基準に合致するとともに、公認会計士試験制度(短答式一部免除)に合致した教育課程
- ・高度な職業倫理観の涵養を目的とした、職業倫理、企業倫理及びコーポレートガバナンスに関する教育
- ・国際的感覚を備えた専門職業人の育成を目的とした、国際会計基準及び英語に関する教育
- ・会計プロフェッションとして求められる思考力・判断力・表現力の涵養を目的とした、少人数制の演習、論文作成指導及びディベートを重視した教育
- ・健全かつ実践的な会計マインドの涵養を目的とした、実務家教員による教育と、監査法人、公認会計士事務所及び税理士事務所でのエクスターンシップによる教育

○会計監査プログラム

- ・財務会計、管理会計及び監査論に関する専門知識を修得し、適用能力を高めるための教育課程
- ・実務における諸課題に対する問題発見力と解決力を高める、実践的な事例研究(ケーススタディ)による教育

○税務マネジメントプログラム

- ・税務専門家に必要な租税法規に関する専門的知識を修得し、適用能力を高めるための、各税目ごとの教育課程
- ・税務専門家に必要な財務マネジメントに関する専門知識を修得し、適用能力を高めるための教育課程
- ・税務専門家としての土台を形成するための、租税法規の基礎概念や申告・納税等に関する手続実務に関する基礎的な教育

ディプロマポリシー(修了認定・学位授与の方針)

○会計監査プログラム

【目指すべき人材像】

- ・会計監査に関する専門的能力、高度な職業倫理性及び国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッション

【知識・技能】

- ・財務会計、管理会計、監査及び企業法に関する専門基礎理論を修得している。
- ・国際的な会計や監査といった、会計プロフェッションの実務に係わる国際的なルールや考え方に対する一定の理解力をもっている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・会計監査の実務に必要な専門領域について論理的な思考力が備わっている。
- ・監査の理論的考え方と実務的な状況に対応して一定の判断ができる。
- ・財務会計、管理会計、監査及び企業法に関する専門基礎理論に基づく高度なコミュニケーションを行う能力が備わっている。

【意欲・関心・態度】

- ・会計プロフェッションとしての職業倫理と会計マインドが身に付いている。

○税務マネジメントプログラム

【目指すべき人材像】

- ・税務マネジメントに関する専門的能力、高度な職業倫理性及び国際人としての資質を十分に備えた会計プロフェッション

【知識・技能】

- ・租税法規、財務マネジメント及び企業法に関する専門基礎理論を修得している。
- ・国際的な会計や監査といった、会計プロフェッションの実務に係わる国際的なルールや考え方に対する一定の理解力をもっている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・税務マネジメントの実務に必要な専門領域について論理的な思考力が備わっている。
- ・監査の理論的考え方と実務的な状況に対応して一定の判断ができる。
- ・租税法規、財務マネジメント及び企業法に関する専門基礎理論に基づく高度なコミュニケーションを行う能力が備わっている。

【意欲・関心・態度】

- ・会計プロフェッションとしての職業倫理と会計マインドが身に付いている。

入学後の取扱いについて

所属プログラム (カリキュラム区別)	授与学位
会計監査プログラム	会計監査修士（専門職）
税務マネジメントプログラム	税務マネジメント修士（専門職）

「会計学」（監査、原価計算を含む）に関する修士論文執筆希望者：会計監査プログラム

「税法」に関する修士論文執筆希望者：税務マネジメントプログラム

目 次

1. 目的（趣旨）	1
2. 概要	1
3. 出願資格	1
4. 審査方法	1
5. 合格判定の方法および基準	1
6. 修士論文希望者審査について	1
7. 出願書類	2
8. 入試日程	3
9. 試験会場	3
10. 出願方法	3
11. 入学検定料	4
12. 合格発表	6
13. 入学手続	6
14. 「入学辞退願」提出について	6
15. 学費等	7
16. 授業料後払い制度について	7
17. 奨学金について	8
18. 履修について	8
19. 修了要件について	8
20. 注意事項	9
21. 個人情報の取扱いについて	9

1. 目的(趣旨)

会計プロフェッション研究科は、青山学院の真理を謙虚に追求する教育方針を具現化し、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を2本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッション」の育成を目指す教育理念に基づいた教育を行なう。この教育方針および教育理念を理解し、自己の確立した目標に向かって学修に邁進する学生を募集するものである。

2. 概要

募集区分： 修士論文審査

修業年限： 2年

※ 所定の要件を満たすことにより、修業年限を1年もしくは1年半に短縮可能。

カリキュラム区分： ①会計監査プログラム ②税務マネジメントプログラム

(出願時に選択すること。なお、その後の変更はできません。)

募集人数： 45名程度(2年制入学試験の全種別あわせて)

3. 出願資格

本研究科修了(修了見込)の者で、修士論文またはリサーチ・ペーパーを執筆し学位を取得した者または2026年3月までに取得見込の者。

4. 審査方法

- ・書類審査(修士論文等および研究計画書に関する審査)
- ・口述試験(研究計画書に関する審査)

5. 合格判定の方法および基準

提出書類および口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、可否を判定します。

6. 修士論文希望者審査について

「研究計画書」による書類審査および口述試験の対象となります。なお、修士論文の合格が会計プロフェッション研究科の修了要件となります。

7. 出願書類

手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンで記入してください。消すことのできるペン（フリクションペン）、鉛筆での記入は不可です。

下記の書類を準備して、3 頁の「10. 出願方法」を参照し、出願してください。

①出願書類チェックリスト [所定用紙 No. 1]	提出する書類の項目にチェックを記入の上、1 枚目として使用してください。
②入学志願票 [所定用紙 No. 2]	* 所定欄に写真を貼付。縦 4 cm×横 3 cm、最近 3 カ月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・脱帽・無背景）で、表面が光沢面のものに限ります。（スナップ写真、白黒写真、カラーレンズの眼鏡、眼が隠れる髪型は不可） * 写真の裏面に氏名を記入してください。 * 入学手続きの際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。 * 「資格等」欄に取得資格を記入する場合は、各種証明書の写しを提出してください。（→⑤へ） * 外国籍の方の本人氏名は、必ずパスポートまたは住民票に記載されたアルファベット氏名を大文字で記入、フリガナをカタカナで記入してください。また、通称名は使用しないでください。
③入学志望理由書 [所定用紙 No. 3]	* 本研究科の志望理由、自己アピール等について、1,000 字程度。 * 枠内に収まらない場合、収まらない分を 2 枚目（A4 印刷）として、ホチキス留めして提出してください。
④研究計画書 [所定用紙 No. 4]	* 2,000 字程度。（参考文献は字数に含めない） * 枠内に収まらない場合、収まらない分を 2 枚目（A4 印刷）として、ホチキス留めして提出してください。
⑤取得資格の証明書 【「②入学志願票」の「資格等」欄に記入した方は必須】	* 「②入学志願票」の「資格等」欄に取得資格を記入した方は、各種証明書の写しを提出してください。 * 以下のような資料があれば、「資格」として記入し、証明書の写しを提出してください。 ・ 英語能力を証明する書類 ・ 英語能力以外に、自己の学力および能力を証明する書類
⑥パスポートの写し 【外国籍の方のみ必須】	* 「顔写真」「氏名」「ローマ字氏名」「国籍」「パスポート番号」「有効期限」の確認できるページを、はっきりと読み取れるようにコピーしてください。
⑦入学検定料支払書類貼付用紙 [所定用紙 No. 5]	「11. 入学検定料」に従って検定料を納入してください。
⑧写真票・宛名ラベル [所定用紙 No. 6]	* 「②入学志願票」と同じ写真を貼り付けてください。 * 切り離さずに、A4 用紙のまま提出してください。

⑨修士論文等およびその要旨	*A4 判両面印刷で、写しを各3部提出してください。 *修了見込で出願する者は、出願時点で作成しているもので可。
---------------	--

※ 改姓等により、証明書等に記載されている氏名と異なる場合は、9頁の「20. 注意事項」を参照し、所定の手続をお取りください。

【注意】「入学志望理由書」、「研究計画書」を作成するにあたり、ChatGPT 等の生成系 AI が生成した文章等を自分自身が作成したものとして使用しないこと。

8. 入試日程

出 願 期 間	2026年 1月30日（金）～ 2月 3日（火）	最終日消印有効（国際郵便は必着）
試 験 日	2025年 2月21日（土）	予備日：2月28日（土）
合 格 発 表	2025年 2月26日（木） 13：00	予備日：3月 5日（木）

①口述試験の予定時間等は、受験票にてお知らせします。

②予備日は、大雪、地震等により、入学試験を実施できない場合の予備日程です。

9. 試験会場

青山学院大学 青山キャンパス 16号館（会計専門職大学院棟）

10. 出願方法

すべて郵送受付（締切日消印有効）とします。[所定用紙No. 7] 出願用封筒表紙 を角形2号封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして送付してください。

ただし、海外住所から国際郵便で申込む場合は**締切日当日必着**となります。

なお、各所定用紙は会計プロフェッション研究科ホームページからダウンロードしたものを印刷して使用してください。

所定用紙のダウンロードはこちら：<https://www.gspa.aoyama.ac.jp/admission/entrance.html>

①出願書類、入学検定料等に不備があった場合は、受験できないことがありますので漏れのないよう確認のうえ、郵送してください。

②受験票は、出願書類の[所定用紙No. 6] 受験票/合格通知発送用 宛名ラベル に記載された住所へ郵送します。

入学試験日の2日前までに受験票が届かない場合は、専門職大学院教務課に問い合わせてください。

③出願締切日を過ぎた消印のものは、受理せず返送します。

11. 入学検定料

35,000 円

5頁「コンビニ端末での入学検定料支払方法」に従ってお支払いください。

支払い後、「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り、「貼付用紙」に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。

※出願書類受付後は、入学検定料は返還いたしません。入学検定料の振り込みだけで出願しなかった場合は、専門職大学院教務課にて返金手続きをしてください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON Loppi

MINISTOP Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

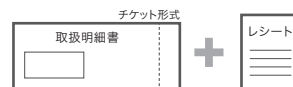
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

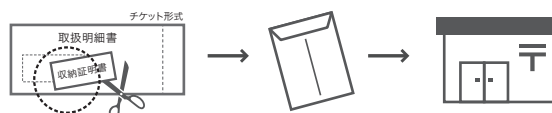
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	550円
	入学検定料が5万円以上	770円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「**感熱・感圧紙**」などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。

12. 合格発表

大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。また、合格者には入学手続要項を郵送します。

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

13. 入学手続

合格者は下記期日までに入学手続を完了してください。すべて郵送により受け付けます。締切日までの消印があるものを有効とし、締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。

2026年3月4日（水） 締切日消印有効 【 3月11日（木） 】

- ①入学手続に関する詳細は、合格者に送付する入学手続要項を参照してください。
- ②予備日に入試を実施した場合は、【 】内の期日となります（締切日消印有効）。

14. 「入学辞退願」提出について

入学手続完了後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」を以下のとおり提出し、受理されたものは、入学金を除く納付金を返還いたします。

- （１）「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部専門職大学院教務課 会計プロフェッション研究科担当

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL：03-3409-8025（直通）

- （２）「入学辞退願」等の提出について

締切日： 2026年3月31日（火）（郵送は書留扱いで締切日の消印有効）

提出物： ①入学辞退願（本学所定用紙） ②振込金受取書

15. 学費等

2025年度入学者用を参考として記載します。

2026年度入学者の学費等については入学手続要項に記載します。

学費等納入額内訳（2025年度参考）

費 目		金 額	備 考
	授業料	560,000 円	1 年次後期分 560,000 円 2 年次前期分 560,000 円 2 年次後期分 560,000 円
	在籍基本料	40,000 円	半期ごとに納入
	施設設備料	50,000 円	半期ごとに納入
	教育活動料	50,000 円	半期ごとに納入
	(小計)	700,000 円	
諸 会 費	後援会費	2,500 円	半期ごとに納入
	学会費	2,500 円	半期ごとに納入
	(小計)	5,000 円	
入学手続時納入金合計		705,000 円	
2 年間総額		2,820,000 円	標準修業年限総額（参考）

（消費税は課税されません）

※今後、経済事情に応じ、学費等の改定が行なわれた場合には、在学生にも新学費等を適用することがあります。

16. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、

以下QRコードまたはURLより申請要項を確認の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は対象外です。

【申請要項QRコード】



【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2025/03/af_scholarship_26atobarai1.pdf

17. 奨学金について

【貸与】

日本学生支援機構奨学金があり、応募方法は入学後に学生ポータルにてお知らせしています。連帯保証人および保証人を必要とします（機関保証制度もあり）。返還は貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目に開始されます。

〈貸与額〉

日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）：月額5万円または8万8千円から選択

日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）：月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

※日本学生支援機構第一種奨学金には「特に優れた業績による返還免除」制度があります。在学中に特に優れた業績を挙げたと日本学生支援機構が認定した場合に、貸与終了時に奨学金の全部または一部が免除される制度です。本研究科では年に1、2名程度がこの適用を受けています。

【給付】

青山学院大学学内給付奨学金：

入学後に募集され、経済支援を必要とする学生若干名に年間授業料相当額を限度として給付します。

※外国籍の方は、それぞれの奨学金ごとに申込資格に制限があります。申請時に確認してください。

18. 履修について

「演習」は少人数教育を基本としますので、入学時に研究科にて担当教員の割り振りを行ないます。

19. 修了要件について

2年以上在学し、所定の履修方法に従い、50単位以上を修得しなければならないほか、平均成績基準(GPA)が1.5以上でなければならない。また、修士論文の作成に必要となる所定の論文指導科目を履修する者は、必要な学位論文の作成指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。但し、所定の要件を満たすことで、修業年限を1年もしくは1年半に短縮可能です。

18、19 の記載項目およびパンフレットやホームページなどに掲載している科目配置やカリキュラムについては、すべて現状を反映したものです。次年度以降、カリキュラム変更や科目の名称変更・追加・削除などが行なわれる可能性もありますので、予めご了承ください。

20. 注意事項

- ①修了（修士学位取得）見込で出願していた者で、2026年3月末日までに修了（修士学位取得）できなかった場合は、本入試制度における入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
- ②本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。
- ③提出された書類の内容に偽造または著しい誇張があった場合は、合格・入学を取り消します。この場合、一旦納入された入学検定料、学費等および出願・入学手続書類等は返還しません。
- ④改姓等により、証明書等に記載されている氏名と異なる場合は、そのつながりがわかるもの（戸籍抄本等）を適宜提出してください。
- ⑤入学に際し、在留資格を有しておらず、在留資格「留学」の取得を希望する場合、在留資格認定証明書の申請から取得までに約1.5～2ヵ月の期間を要します。在留資格を保有していない方が受験する場合、新学期開始までに査証取得が間に合わない可能性があることをご理解の上、ご出願ください。なお、授業は原則対面式で実施しますので、入国できない場合は授業を受けることができません。
- ⑥受験・入学手続などに関する問い合わせは、専門職大学院教務課へお願いします。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
- ⑦試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない方は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

21. 個人情報の取扱いについて

- ①受験者の個人情報は、個人情報保護法ならびに同法の趣旨に則り定められた「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」に基づき、適正に取り扱います。
- ②受験者の個人情報は、入試業務ならびに当該業務に付随する連絡・通知等、本研究科の教育事業に必要な範囲でのみ使用いたします。利用目的達成後は個人データの漏洩・滅失・毀損の防止その他個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。ただし、個人が特定できないよう統計処理したデータは、文部科学省等に対し、その事業の適正な遂行に係る調査・研究のための資料として提供することがあります。

青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院大学学務部専門職大学院教務課 会計プロフェッション研究科

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL:03-3409-8025(直通)

【受付時間】 月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～13:00 (いずれも 11:30～12:30 を除く)